

大工への入職に向けて

二戸高等
技術専門校

建築現場訪れ理解深める

県建設業協会

県建設業協会（向井田岳会長）は、県内専門学校生などを対象に現場見学会を実施しており、このほど県立三戸高等技術専門校建築科の生徒が二戸市安比で工事が進む（仮称）御返地地区防災センター一整備工事を見学。生徒らは、見学会を通して建築現場の雰囲気を感じ、目標としている大工への入職に向け決意を新たにした。

見学会には、同市総務部財政課主任技師の松谷泰行さん、現場代理人の山本幸作さん、同科1、2年生の9人が参加。松谷さんが事業の概要などを説明後、山本さんが工事の概要を説明した。

松谷さんは、防災センターと消防屯所を併設した施設であること、を述べ、「最大54人の会議が可能な研修スペースを確保し、隣接して個室も設け避難時に多目的に活用できるスペースを整備する。調理室では、15人程度の同

どと説明した。

2年生の遠藤樹さんは「屋根の垂木を減らすために合板を使っていることなどを知った。施工中の現場を見ることは貴重な経験で、今後に生かしたい」と話す。

山本さんは「一つの建物を完成させるまでに多くの工程があり、柱や梁の接合に使用する金物だけでも多くの種類があり、覚えることがたくさんある。見学会を通して、大工という仕事を理解し、将来に生かしてほしい」と願った。



施設内を見学する生徒ら

市発注で同市安比字上大鑓平地内で工事が進む（仮称）御返地地区防災センター整備工事（建築工事・外構工事1）。施工は㈱中館建